

★県北地域の感染症発生状況（9/2～9/8福島県感染症発生動向調査より）

※詳細は「福島県感染症発生動向調査」で検索してください。

定点把握疾患：手足口病、RSウイルス感染症が流行しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナが小流行しています。

全数把握疾患：結核1名(90歳代女性)、百日咳2名（ともに学童；女兒）が報告されています。

今月のトピックス

9/24(火)
～9/30(月)は
「結核予防週間」です。

★「結核」は過去の病気ではありません！

福島県内では平成30年に183名の方が新たに結核を発症しています。そのうち、**約7割が65歳以上の方**です。また、外国出身者の結核発症も増加しています。

結核は人から人にうつる感染症で、自分が結核だと気づかずに、家族や職場の同僚など、周りの人にうつしてしまうことがあります。

結核は早期発見、早期治療により治すことができます。

結核に関心を持ち、正しい知識を身につけましょう！

結核を孫にうつしたら大変！
咳が続いたら、早めの受診だね。
健診も毎年受けています。

●「結核」はどんな病気？

結核とは「結核菌」によって、主に肺に炎症を起こす病気です。

結核を発病し重症化している人の「せき」や「くしゃみ」の“しぶき”には、結核菌が含まれています。このしぶきの水分が蒸発して、結核菌だけが空気中にただよって飛び、それを周りの人が直接吸い込むことによってうつります。

「結核かな？」のサインが出たら、すぐに医療機関を受診しましょう。

また、人にうつさないために、せきが出るときはマスクをしましょう。



結核かな？のサイン

このような症状がある時は
重症になる前に、早めに受診しましょう！

- ◆長引く咳(2週間以上)
- ◆タンが出る
- ◆長引く(体の)だるさ
- ◆長引く微熱
- ◆胸の痛み
- ◆急に体重が減る



<発見されにくい高齢者の結核>

65歳以上の方は、年に1回胸部レントゲン検査(X線検査)を受けましょう。また、検査で精密検査となった場合は、自覚症状がない場合でも、必ず受診しましょう。

せきやタンなど目立った症状が現れにくいのが、高齢者の結核の特徴です。食欲がない・元気がない・体重減少・微熱などの症状しか出ない場合があります。日頃から健康状態に注意しましょう！



<生後1年までにBCGを受けましょう！>

BCGは結核に対する免疫をつけて、乳児の重症化を防ぐ予防接種です。生後5～8ヶ月に必ずBCG接種を受けましょう！

<結核は免疫が弱ったときに発症しやすい！>

過労が重なったり、不規則な生活が続き、免疫力が低下したとき結核菌を吸い込みこむと発病しやすくなります。

ほかに、下欄に該当する方も注意が必要です。



- ◆糖尿病患者 ◆胃潰瘍や胃切除術後の人 ◆腎不全などの腎疾患患者 ◆じん肺患者 ◆副腎皮質ホルモン(ステロイド)剤や抗がん剤を服薬中の人 ◆強い精神的ストレスを受けた人 ◆HIV感染者

発行日 令和元年9月11日
発行元 福島県県北保健所
医療薬事課
住所 〒960-8012
福島市御山町8-30
電話 024-534-4113
ホームページ
検索キーワード 福島県県北保健所